

令和3年度授業改善推進プラン【図画工作科】

《各学年の特徴》

- 1年 色や形を意識しながら、楽しく造形活動をしている。
- 2年 自分の感じたことや経験したこと、想像したことを表そうとし、楽しく造形活動をしている。
- 3年 自分らしい表現を見つけながら、様々な造形活動に楽しんで取り組んでいる児童が多い。
- 4年 積極的に道具や素材に関わり、楽しく造形活動に取り組んでいる児童が多い。
- 5年 意欲的に素材に関わり、楽しく造形活動に取り組んでいる児童が多い。
- 6年 意欲的、協力的に造形活動に取り組み、計画を立てて制作している児童が多い。

《課題となる育てたい力》

- 低学年 作りたいものや描き表したいものの想像を膨らませる力。  
表し方を考えて、工夫する力。  
切る、貼る、折るなどの基本的な技能。
- 中学年 材料や用具を使い、表し方などを工夫して創造的に表する力。  
豊かに発想や構想したことを、自分なりに表す力。  
進んで表現したり鑑賞したりする力。
- 高学年 材料や用具を活用し、表し方などを工夫して創造的に表する力。  
創造的に発想や構想したことを、自分の思いや願いを深め表す力。  
主体的に表現したり鑑賞したりする力。

☆授業改善の具体策☆

《授業全体に関わる事項》

- ・伝えたいことを表す活動、友人の話を聞く活動
- ・担任、教科担任との連携
- ・連合作品展、行事での発表
- ・図工室の整備
- ・安全指導の徹底
- ・素材、材料の工夫
- ・鑑賞時など、ICT機器の有効活用

《知識・技能》

- 低学年 手や体全体の感覚を働かせて制作できる素材を扱わせる。はさみや絵の具、ローラーや刷毛、手などを使い、切ったり貼ったり折ったりする基本的な技能を身につけさせる。
- 中学年 手や体全体の感覚を十分に働かせ、道具を正しく使い、粘土や木材、紙や布を扱うことができるようにさせ、創造的に制作させる。
- 高学年 今までに経験した道具の特性を生かし、表現に適した方法で 사용할 ことができるようにさせ、創造的に制作させる。

《思考・判断・表現》

- 低学年 造形的な良さや楽しさから、楽しく発想や構想ができる課題を行う。
- 中学年 造形的な良さや面白さから、豊かな発想や構想をし、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げられるようにする。
- 高学年 造形的な良さや美しさ、思いや願いから、創造的な発想や構想をし、親しみのある作品から自分の見方や感じ方を深められるようにする。

《主体的に学習に取り組む態度》

- 低学年 興味をもって楽しみながら取り組めるように、のびのび表現できる課題を設定する。
- 中学年 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
- 高学年 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、ICT を使った制作や鑑賞を行いながら、豊かな生活を創造しようとする態度を養う。